

あいかい	ありますか
あいけんが	それだから、あるから
① あいそんなか	無愛想
あいばってん	そうですが
あえもん	しらあえ
あえん	おちない（汚れが）、会えない
あかさした	うちあけた
あかはら	赤痢
あかし	燈
あかへんぶ	赤とんぼ
① あがしこ	あれだけ
あがつだん	あがりだん
あがりがまち	上がり框
あがる	仕事を止める、雨が止む
あがん	あんなに
あがんこつ	あんな事
あがんと	あんなの
あがんところば	あんなところ
あがんなっせ	おあがり下さい
あきにや	商売
あきれたばい	びっくりした
あくしゃうつ	迷惑する
あぐつちゃけ	口をあけろ
あげもした	さしあげた
あごたたくな	大口を言うな
あさっぱらから	朝早くから
あしなか	藁草履（農作業用）
あせくる	引っ搔き回す
あすけ	あそこ
あすこ	あそこ
あすつきや	遊びに
あすびぎやいた	遊びに行った
あすぼい	遊ぼう
① あせがるな	急ぐな
あせくる	ほじくる、あさる
あせんな	急ぐな、まぜるな

あたっこつ	いたずら
あたまにきた	おこった事
あつたか	あつい
あつたらしか	もつたいない
あっちこっち	あちらこちら
あっちみとれ	むこうを見ていなさい
あっちゃんこっちゃん	反対
あっちゃんといけ	むこうに行け
あって	そういうても
あってにや	そういうっても
あつと	ある
あつとん	だが
あとうえ	後おい
あとばらんせく	後で費用などに苦しむ
あてぐりや	当て競争
あてっぽし	あてずっぽう
あなまたぐされ	水虫
あねんどん	姉さん
あぶなか	あぶない
あぶらげ	油あげ
あぼ	兄
あまめ	舟虫
あまやかすけん	可愛がりすぎるから
あまる	ふざけあう
あら	米の中に混じった粉
あらか	荒い
あらまこて	あらほんと
①あらよっこいしょ	しまった
ありや	あれは、あの人は
ありよんとこる	私の本心をかくしなしに言ってみると
あるかい	ありますか
あるさん	あそこに
あるしこ	あるだけ、全部
あるば	あれを
あるばってん	そうであっても
①あろば	それでは

あんきか	呑気だ
あんご	姉
あんし	のんびりした人
あんた	貴方
あんたがな	あなたが？
あんね	姉
あんびや	加減
あんびやよか	調子がよい
あんまりじゃん	ひどいこと
あんまれ	のんびりした人
あんわれ	のんびりした人
あめんあえた	雨が降った
①あごたたくな	偉そうに言うな

①いおつり	魚つり
いかした	行かれた
いかつた	行かれた
いがむ	歯をむきだして言い争う
いがわ	井戸
いかんかん	行かないか
いかんばんけん	行かなければならないから
いきやえん	行けない
いけ	ゆけ
いごかん	うごかない
いごく	動く
いさな	わが家へ
いさぎのよか	思い切りがよい
いしたたき	鶴鶴
いそがんばー	いそがなければ
いたがいか	いたくかゆい
いたつくるけん	行ってくるから
①いたつけ	行ってこい
いたとけ	行つとけ
いたらんこつ	くだらないこと
いたんぐらめ	あぐらをかく
いたんみにや	行って見なさい

いちかぶって	おおって
いつあいらん	時ならぬ時
いつか	てんびんで担う量
いつかぶる	水をかぶる、責任を一人で負う
いつかかって	みんなで
いつかりしじゅう	何時も
○ いつそ	全部
いつちえとらる	忘れている
いつちゃつた	逃がした
いつちょいて	おいてきた
いつちょけ	そのままにしておけ
いつちょうどま	一つでも
いつちよん	ひとつも
いつちよんくれん	ひとつもくれない
いつちよんこられん	ひとつもこられない
いつちんよか	一番よか
○ いつでん	いつでも
いつぴや	いっぱい
○ いつぴやこっぴや	どこもかしこも
いつあいらん	とんでもない時
いつまっでん	いつまでも
いつもかつも	何時もいつも
いなまき	筵
いばしか	荒々しい
いひやさん	位牌
いみる	ふえる
いもつ	妹
○ いやしか	食いしん坊
いらか	雨に濡れる時言う言葉
いらん	いらない
いろめえて	いろいろして
いわんば	いわなければ
いん	犬
いんじごつ	独り言
いんにゃ	違う
いんね	違う

いんま	何時か、何時かそのうち
ううか	多い
ううてさるく	追っかけまわす
うさんか	疑わしい
○うさんくさか	疑わしい
うしこんじょう	頑固に黙っている
うしつんな	するな
○うしてた	すてた
うすぬつか	信用できない
うずぶるとる	寒さに震える
うせる	荷を載せる（牛、馬などに）
うせろ	行け
うたるつぞ	打つぞ
うち	我が家
うちあめ	振込み雨
うちあわん	拘らない
うちかえる	お茶など入れ換える
うちにゃ	自分の家には
うちよこし	ベッタ（子供の遊び）
うちんひと	夫
う一ばんぎやか	締りがない
うーみず	大水
うつし	贈り物の返し
うつくやす	壊す
うつすてた	捨てた
うつすわんなつせ	ゆっくり座って下さい
うったち	旅行の出発
うっちゃげ	砕け
うっちゃんけ	自宅に来い
うっぽげる	底が抜ける
うつらした	かわらした
うてあわん	拘らない
うな	お前（下品な言葉）
うぬぼるんな	自負するな
うのうし	雌牛

〇うばんぎやか	そざつ、おおざっぱ
〇うまか	おいしい
裏口に	勝手口に
うらやましか	うらやましい
うり	雨、(久しぶりの雨)
うりまわり	雨の降り方
うろつくな	いたりきたりするな
うん	お前、汝
うんどみや	お前たちは
〇うんどん	お前たち
〇うんにゃ	いや
うんぶくれた	おぼれた
えーくらい	酔っぱらい
ええこれ	大部分
えがつちょう	エイ目の軟骨、魚の総称
えご	船着場、舟の通るくぼみ
〇えしれんこつ	余計なこと、いたらない事
えすか	たくさん
〇えずらしか	思いがけもない、大変だ
えだんいたか	腕がいたい
えっと	あんまり、ひどく
えっととをなればみえんごてなる	ひどく遠くなれば見えない様になる
えつり	家の土壁の中に塗り込めた竹
えど	餌
〇えらいこつじゃった	大変な事でした
〇えらいしこ	たくさん
〇えらいなもん	たいへんな事
えらかぶって	おえら気分で
〇えろう	沢山
えんうち	宵のうち
えんかうち	親類
えんじょせんちゃ	遠慮しなくても
えんどうか	結婚がおそい
えんりゅう	えんりょ

おい	自分のこと
おいこみ	いつしょに
おいこら	呼びすて
おいにんぎょう	おにごっこ
おえかぶる	伸び放題、髪など
おえぬき	昔からすんでいる人
おかつつあま	金持ちの奥さん
おがんだろ	かまきり
おき	炭火
おきばえ	南西の風
おくびょうもん	こわがり者
おこないころす	扱い過ぎること
おごらす	叱ること
おごらる	しかられる
おじえー	大変
おしこめ	つめこむ
おじゃめ	おて玉
おすなつた	おそくなつた
おずむ	目をさます
おだれる	衰える
おちおちしとられん	ゆっくりしていられない
おちょくんな	馬鹿にするな
おっしゃんな	おすな
おったかなん	おりましたか
おったつかい	いらっしゃいますか
おつとつれのうでゆこだ	自分と連れ立って行こう
おつどま	自分のこと
おつどみや	自分達は
おつどんがえ	自宅
おとろじか	怖い
おど	分水嶺
おどか	悪がしこい、意地悪、極道者
おどし	かかし
おどもん	横着者
おどりや	お前は
おねびやき	鬼火焼

おびく	小さな魚などを指先で料理する
○おぶか	重たい
おまえ	畳の部屋
おめがけんなか	思いがけもない
○おめく	叫ぶ
おもさん	たくさん
おもしろかない	面白いですね
おらした	在宅
おらすと	いますか
おられん	るす
おる	自分
おるが	自分が、俺が
おるけん	自分の家にいる
おるげ	自分の家
おるげんし	私の家の者
○おろいか	悪い、そまつ
おわる	生える
おんなすか	いらっしゃいますか

○かいか	かゆい
かえめし	おかゆ
かがる	つかみとる
かくさん	母親
かくすな	かくさないで
かくれごじょ	かくれんぼ
かげごつ	陰口
かけもん	描物
かじくんで	集まっていること
○がしこ	これだけ
かしこか	おりこう
がぜ	雲丹
かたぎる	言い張る
かたっぽ	片方
かたし	椿
○かたっぱし	つぎつぎ
かたね	一人で荷なう量の半分